

## 今後の農業政策について（体系図）

<b>基本理念</b>	大規模な農業法人や専業農家から小規模農業者までが活躍し、すべての人が参加する新しいふくいの農業の推進
<b>策定の背景</b>	以下の本県農業をとりまく情勢の変化や課題に対応し、計画を改定（H31～35） <ul style="list-style-type: none"> <li>・米の需要低下に対する所得向上（園芸の推進）</li> <li>・全国のブランド米競争の激化、九頭竜パイプラインを活かした農産物のブランド化</li> <li>・県内1JA化を活かした生産販売の効率化</li> <li>・県立大学新学科と連携した人材育成</li> <li>・新幹線など高速交通網を活かした新ビジネスと農産物需要の創出</li> </ul>

◇：新規項目

